

25S-am02S

Iboga 型インドールアルカロイド Voacangine 類の不斉全合成研究

○和田 凌太¹, 浅場 絢ヌネツ¹, 小暮 紀行¹, 北島 満里子¹, 高山 廣光¹ (¹千葉大院薬)

【背景・目的】我々は、キョウチクトウ科植物 *Voacanga africana* より、Voacangine (**1**) を主成分とした様々な Iboga 型インドールアルカロイドを単離し、それらが有用な生物活性を示すことを見出した。本アルカロイド類は、胃腸疾患や疼痛に対する新規医薬品リード化合物として期待できることから、更なる創薬化学的研究に向け、全合成研究に着手した。

【方法・結果】市販の **2** より導いたアミノジエン **3** とジエノフィル **4** との Diels-Alder 反応により、**5** を合成した。次に、 β 配置のエチル基を合成する目的で、ビシクロラクトン **6** へと導いた後、オレフィンの還元を行った。還元は期待通り Convex 面から進行し、**7** を単一ジアステレオマーとして得ることに成功した。その後、イソクヌクリジン誘導体 **8** を合成し、更にインドール環と C 環の構築を行い、(±)-**1** の初の全合成を達成した。本発表では、類縁天然物の全合成と不斉化の検討についても報告する。

